

当中間連結会計年度の業績の概況

当中間連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格の高騰による素材・原材料の値上がりなどの不安要素はあったものの、引き続き製造業を中心とした企業収益の改善や堅調な設備投資に支えられて景気は継続して回復傾向にありました。

このような経済環境のもと、当社グループは、平成 17 年 5 月 9 日に中期経営計画を公表し、その実現に向け連邦制の経営を実践してまいりました。連邦制の経営は、「リース事業」「自動車メンテナンス受託事業」「燃料販売事業」「ケミカル事業」「パーキング事業」の 5 つの事業を柱に事業の安定性を保ちつつ、営業利益の拡大を進めていくことを目的としております。「収益の拡大」「経営の効率化」「相乗効果の追求」による企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計年度の連結売上高は燃料販売事業の売上高の会計処理の変更もあり、218 億 87 百万円(対前期比 9.6%減)となりました。なお、燃料販売事業の売上高の会計処理の変更による売上減少額は、49 億 44 百万円であります。

営業利益は 10 億 56 百万円(対前期比 12.0%増)、経常利益は 10 億 7 百万円(対前期比 17.1%増)となりました。

当期純利益は 4 億 57 百万円(対前期比 23.0%減)となりました。なお、前中間連結会計年度は、税効果の適用により税負担が 1 億 78 百万円軽減となっております。

以上